

静音オイルフリーコンプレッサー

AIR COMPRESSOR

取扱説明書



平素は弊社エアコンプレッサーをご愛用いただき、誠にありがとうございます。

お買い上げいただいたエアコンプレッサーをより快適にご使用いただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。

目次

1.	アフターサービスのご紹介	2
1.1	はじめに.....	2
1.2	サービス内容.....	2
1.3	受領書	2
2.	製品紹介	2
3.	主な技術パラメータ	3
4.	エアコンプレッサーの使用上の注意.....	3
5.	利用条件	3
6.	メンテナンス	4
7.	トラブルシューティング表	5

1. アフターサービスのご紹介

1.1 はじめに

この度は、当社のオイルフリーエアコンプレッサーを選んでいただき、ありがとうございます。本製品は、国際的な最新技術を導入し、主要部品はすべて輸入品で構成され、入念に設計されています。

しかし、本製品を安全かつ確実にご使用いただき、長寿命化を図るためには、ご使用前に本書を詳しくお読みいただき、正しくご使用・保守していただくことが重要です。

ご不明な点がございましたら、弊社までご連絡ください。

1.2 サービス内容

1.2.1 品質保証

製品は、この説明書に従って設置・操作されたユーザーに対してのみ、6カ月間の保証を提供します。保証期間中に製品に不具合や破損が生じた場合、無償または有償で部品提供サービスを提供します。当社の技術部門は、その損害が保証の対象となるかどうかを確認する権限を持つ唯一の機関です。

本保証は、機械の誤った操作やメンテナンスに起因する人または物に対する直接的または間接的な損失や損害については対象外とし、材料や部品に対する損害に限定します（すべての部品の通常の消耗は含まれません）。

1.3 受領書

1.3.1 エアコンプレッサーが届きましたら、ご注文の機種・仕様と一致していることをご確認ください。

2. 製品紹介

当社のオイルフリーエアコンプレッサー（以下、エアコンプレッサー）は、オイルフリーの空気源を供給できます。その主な利点は以下の通りです

2.1.1 モーターは、コンプレッサーが低入力電力、高効率、低エネルギー消費、高性能、高信頼性を実現するための高度な設計システムを採用しています。

2.1.2 ピストンリングは環境に優しい新素材で設計されており、摩擦係数が小さく、自己潤滑が可能で、従来のオイル潤滑を使用するピストンマシンに代わるものです。

2.1.3 シリンダーライナーは高度な表面硬化処理プロセスを採用し、厚みを大幅に減らし、熱伝達を速め、表面の緻密さと耐摩耗性を効果的に向上させ、摩擦係数を低減させます。これにより、耐用年数が延び、メンテナンスの時間とコストを削減することができます。

2.1.4 吸排気バルブプレートは、80 時間以上の精密圧延と研削処理後のスウェーデン製バルブ鋼帯を使用し、合理的な騒音除去設計と相まって、体積効率を大幅に向上させ、騒音は他の類似製品よりも大幅に低くなっています。

2.1.5 複数の圧力と過負荷の保護対策により、スムーズで信頼性の高い機械操作が可能です。

2.1.6 機械全体の設計はよく考えられており、柔軟性があり、操作が簡単で、メンテナンスも簡単です。

3. 主な技術パラメータ

IT0-S 6000 1504

型式	吐出量	最高 圧力	出力	回転 速度	騒音値	正味 重量	外形 寸法
	L/min	MPa	W	RPM	dB(A)	KG	LxWxH(mm)
Z513 Z514	1200	0.8	6000	1400	69	150	1520x450x910

4. エアコンプレッサーの使用上の注意

- 4.1.1 セレクタスイッチを ON の位置にセットし、電源を入れると、機械が始動します。起動しない場合は、エアータンクの空気圧を 0.4MPa 以下に下げると起動します。
- 4.1.2 セレクタスイッチを OFF の位置に合わせると、電源が切れ、機械が停止します。
- 4.1.3 本製品には安全弁が取り付けられています。エアータンク内の圧力が 0.8MPa を超えると、安全弁が開き、空気圧を解放します。安全弁が開いた場合は、空気圧スイッチを点検し、空気圧スイッチの作動圧が定格作動圧を超えないようにしてください。
- 4.1.4 空気圧スイッチの作動圧力を調整する必要がある場合、空気圧スイッチのカバーを取り外し、圧力スイッチ内部の回転ネジを調整します。時計方向に回すと作動圧が上がり、反時計方向に回すとその反対になります。操作の際は、必ず電源を切ってから行ってください。

5. 利用条件

- 5.1.1 ご使用の前に、この取扱説明書をお読みください。
- 5.1.2 エアコンプレッサーは乾燥した換気の良い部屋で保管し、腐敗しやすいもの、生鮮食品、可燃物、化学物質との接触は厳に避ける必要があります。保管期間は納品日から 2 年を超えないようにし、この期間を超えても点検・整備を行い、必要なテストを実施してください。
- 5.1.3 コンプレッサーに衝突することは厳禁であり、使用時には正しく配置し、誤動作を避けるために取り扱い時に傾いたり倒れたりしないようにしてください。
- 5.1.4 安全を確保し、機械の寿命を延ばすために、コンプレッサーは風通しのよい清潔で涼しい場所に置き、高温、汚れた空気、ほこり、油燃料の排気のある環境での使用は避けてください。
- 5.1.5 作業用電源を入れる前に機械の電源が切れていることを確認し、正式な操作のために電源を入れた後にスイッチを入れてください。電源電圧は、定格動作電圧の±10%を超えないようにしてください。
- 5.1.6 故障を避けるため、エアコンプレッサーを水から守り、湿気の多い寒い場所に放置しないでください。
- 5.1.7 運転中は、火傷を避けるため、カバー、排気管、逆止弁などの高温部に触れないでください。
- 5.1.8 本製品のパワーが 6000W ですので、電源ケーブルの断面積は 4 mm²以上、ケーブルは長過ぎないように注意してください。(3m 以内)

6. メンテナンス

すべてのメンテナンス作業を行う前に、電源を切り、空気圧を抜く必要があります、そうでない場合は危険性が高くなります！

- 6.1.1 機械を清潔に保ち、定期的にくすり洗いとメンテナンスを実施してください。
- 6.1.2 少なくとも週に一度は、エアータンクから汚水を取り除いてください。汚水を取り除く際、エアータンク内の圧力は0.1Mpa以下である必要があります。
- 6.1.3 安全弁が正常であることを定期的を確認し、空気が簡単に排出され、バルブピンから手を離れた後すぐにリセットできることを確認してください。
- 6.1.4 500時間使用するごとに、エアフィルターエレメントを清掃または交換し、バルブを取り外して清掃してください。1000時間使用するごとに、ピストンカバーを交換してください。
- 6.1.5 2年ごとにエアータンクの圧力テストを行い、毎年その内部と外部の表面を点検してください。深刻な腐食、深刻な打撲、耐圧試験の不合格が見つかった場合、エアータンクは廃棄してください。

7. トラブルシューティング表

警告：メンテナンスまたは整備作業を行う前に、電源を切り、貯蔵タンク内の空気圧を完全に開放してください！

症状	考えられる理由	対応方法
モーターが回らない、音がしない	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電源が入らない。 2. 圧カスイッチが外れている。 3. ヒューズが切れている。 4. 過負荷保護装置が保護状態である。 5. 圧カスイッチが破損している。 6. モーターのステータが焼けている 	<ol style="list-style-type: none"> 1. プラグとスイッチを確認してください。 2. スイッチをリセットし、原因を確認します。 3. ヒューズを交換します。 4. モーターが冷えると再起動します。 5. 弊社までご連絡ください。 6. ステータを交換してください。
電流の音はするが、モーターがうまく回らない、または回転が非常に遅い	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電圧が低すぎる。 2. モーターコイルが短絡または開いている。 3. 逆止弁または空気圧スイッチが損傷している。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 定格電圧の10%以上であることを確認してください。 2. 弊社までご連絡ください。 3. 弊社までご連絡ください。
過負荷保護装置で何度も電源が切れる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電圧が低すぎる。 2. 換気が悪い、温度が高い。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 定格電圧の10%以上であることを確認してください。 2. エアコンプレッサーを風通しの良い場所に置いてください。
室内コンプレッサーの圧力低下	<ol style="list-style-type: none"> 1. 空気接続が緩い、漏れがある 2. ドレンバルブが開いている 3. 逆止弁が漏れている 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 問題をチェックし、修正します。 2. ドレンバルブを締め付けます。 3. 取り外して清掃し、再度組み立てるか、それでもだめな場合は交換します。
吐出ガスに水分が多く含まれている	<ol style="list-style-type: none"> 1. エアータンク内の水が多量にある 2. 湿度が高すぎる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. エアータンク内の水を排出します。 2. コンプレッサーを涼しい場所に移動して使用するか、油水分離器を使用します。
コンプレッサーが連続運転する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 空気圧スイッチが破損している 2. 漏れがある 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 空気圧スイッチを交換します。 2. 問題を確認し、トラブルシューティングします。
コンプレッサーの振動	<ol style="list-style-type: none"> 1. 留め具が緩んでいる 2. 支持脚が破損している、または欠けている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 不具合を確認し、改善します。 2. フットパッドを交換します。
圧力が上がらない、または規定圧力に達しない	<ol style="list-style-type: none"> 1. ドレンバルブが開いている 2. エアフィルターが詰まっている 3. 空気漏れがある。 4. バルブの動作不良、異物混入、エア漏れ 5. ピストンリングの摩耗が激しい。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ドレンバルブを締めます。 2. フィルターを清掃または交換します。 3. 問題を確認し、トラブルシューティングします。 4. 清掃または交換します。 5. 新しい製品と交換します。

製造者は改良のため製品を変更する権利を有しますが、事前にお客様に通知することはありません。